

平成28年度：事業計画書

A. 研究実践校への助成

時代の課題に応える研究、教育内容を深める研究、地域に根ざして地道に意欲的な研究に取り組む学校の中から、年に数校を選んで支援のための研究助成を行う。

《小学校》

- 特別活動 (山形県) ^{いいで}飯豊町立 第一小学校
〒999-0602 山形県西置賜郡飯豊町萩生677
研究主題 「じりつ(自立・自律)を育てる健康教育」

- 道徳・保健体育・総合学習 (大阪府) 大阪市立 大宮小学校
〒535-0002 大阪府大阪市大宮4-9-16
研究主題 「早寝・早起き・朝ごはんの生活をしよう」
— 自分で生活時間をコントロールできる子どもの育成 —

《中学校》

- 人権教育 (長野県) 佐久市立 ^{なかごみ}中込中学校
〒385-0034 長野県佐久市平賀2313
研究主題 「ソーシャルネットワーク社会における人権教育のあり方
及びその実践的研究」

- 総合学習 (静岡県) 静岡大学附属 静岡中学校
〒420-0856 静岡県静岡市葵区駿府町1-86
研究主題 「人間形成のための国語科書写の追求」

- 道徳教育 (高知県) 高知市立 ^{じょうさい}城西中学校
〒780-0926 高知県高知市大膳町3-4
研究主題 「特色ある学校づくり」
— 龍馬の夢と志は、城西中生徒の夢と志 —

B. 教育現場（地域研究団体）への助成

学校の教諭や大学教官等学校現場を主体とした研究団体・学会等に対して、支援のための助成を行う。研究テーマは、教科領域のほか、特別活動、カウンセリング、道徳教育、情報教育、障害者教育、環境教育、野外教育、国際理解教育などの分野としている。

《算数・数学教育》

- 新潟県 ― コンパスの会 [新潟算数・数学教育研究会]

(代表者：小畑 裕／新潟市立総合教育センター)

〒950-2037 新潟県新潟市西区大野56-5

研究主題 「児童・生徒が生き生きと学ぶ算数・数学的活動の追求」

《言語技術教育》

- 高知県 ― 言語技術教育研究会

(代表者：梶原和美／香美市立山田小学校)

〒782-0032 高知県香美市土佐山田町西本町2-4-5 (事務局)

研究主題 「言語活動の充実を図る言語技術を使った授業展開の研究」

《家庭教育》

- 日本家庭教育学会

(会長：中田雅敏／八洲学園大学教授)

〒101-0061 東京都千代田区三崎町3-1-11
瀬川ビル2F (事務局)

研究主題 「家庭教育に関する理論的・実践的な研究」

C. 野外教育活動の推進

野外教育活動（とくに自然体験活動）のいっそうの充実と推進に向けて、指導者養成の講習会を実施する。また、野外教育活動に関する情報等を集めた機関誌「野外教育情報」ニュースレターを発行して、教育関係の諸機関・諸団体に配布し知見の普及を図る。

- 野外教育活動の指導者の講習会

年に複数回の開催を予定。講習会はパッケージド・プログラム「IORE SHEET (アイオレシート)」を教材とし、野外教育活動（自然体験活動）に関する知識、指導法、安全対策等を伝え、指導者の養成を図る。対象は、学校教育関係者、社会教育関係者、大学等の学生、民間の青少年育成に携わる指導者など。次の1回は確定している。他に長野県などで検討中である。

10月8日(土) - 10月10日(月・祝) 2泊3日

実施場所は、国立信州高遠青少年自然の家 (長野県伊那市藤沢6877-11)

○ 機関誌「野外教育情報」ニュースレターの刊行、配布

野外教育活動に関する実践事例や各種の情報、特集テーマの下での記事を掲載した機関誌「野外教育情報」をニュースレター形式で年2回（1月／7月）発行し、教育関係の諸機関・諸団体等に配布する。発行部数は各回 1,500部を予定。

D. 医学・医療教育及び教育技術への助成、研修支援

医学・医療分野での教育及び教育技術の充実・刷新に寄与するため、インターネットを利用した教育や研修（eラーニング）を計画している学会・医療機関・大学等に対して、MED I@（メディアット）システムの導入、コンテンツ等の制作と配信、当該システムを利用した研修プログラムの整備・運営等に対して支援（助成を含む）を行い、eラーニングの広範な普及・展開をめざす。

また、活動を継続して維持できるように、賛同者による会員の組織づくりも行う。

○ 学会総会・学術集会等のネット配信のためのコンテンツ制作・配信

一般社団法人日本癌治療学会の学術集会、一般社団法人日本アレルギー学会の学術集会、日本小児アレルギー学会の総会などをはじめ、各医学会での講義・講演を収録し、インターネット上に配信するコンテンツを制作するなどして支援する。

○ 学会の資格認定のためのeラーニングの構築

がん医療情報の国民への提供とその制度の確立をめざし、国民の福祉に貢献することを目的に、地域でのがん医療情報を収集・提供する「がん医療ネットワークナビゲーター」を養成するため、一般社団法人日本癌治療学会に協力し、その資格認定のためのeラーニングシステムの整備・推進に引き続き努める。プログラムコンテンツの制作、ホームページやシステムの基盤整備等の支援を行う。

また、各学会の専門医制度の資格認定に関わるeラーニングの利用について、その推進に寄与していく。

○ 市民公開講座のインターネット配信

独立行政法人日本環境保全機構などが行う市民のための医学・医療の公開講座において、その講演・講義を収録・配信（LIVE配信も含む）し、一般市民も視聴できる環境を整えるなど支援をする。

E. 研究報告誌の刊行・配布

前年度に研究助成を行った研究実践校や地域研究団体・学会等の研究成果を掲載した「教育研究情報」誌を年1回発行し、教育研究資料として教育関係の諸機関・諸団体に配布し、成果の普及を図る。

○ 「教育研究情報」の刊行、配布

平成28年9月に発行する。前年度に研究助成を行った、研究実践校や研究団体、学会等の研究の成果を掲載し、教育センター・教育研究所、教育委員会、教育課程をもつ大学、小・中学校の一部、青少年教育施設等の教育関係諸機関・諸団体約800個所に配布（寄贈）する。現在は第47号まで発行している。

F. 世界点字作文コンクールへの支援

視覚障害者の方々に点字と音声の架け橋を築くため、オンキヨー株式会社と毎日新聞社点字毎日が平成15（2003）年に創設、その後世界規模（現在は世界4地域128か国）に発展したコンクールである。

国内・海外両部門で優秀作品を選考・表彰し、入選作品は、点字と活字を併記した作品集として、全国の盲学校、点字図書館、公共図書館1,200個所に寄贈している。

この視覚障害者を対象とした作文コンクールを、共同開催の形で支援する。

G. 調査・開発

医学・医療関係者等のためのeラーニング（講演や講義、情報などをインターネット上に配信することで、在宅視聴による教育や研修等を可能にするシステムの実現）に関わる事項について、さらに用途を広げるための調査・研究を行う。

また、スポーツ（ゴルフ）を通じて青少年の健全育成を図る事業として、平成26年度から開始したものの、平成27年度から募集定員に満たず休止しているゴルフアカデミー事業については、今後の実施が可能かどうか調査検討課題とする。

以 上

平成28年度収支予算書（正味財産増減計算ベース）

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

（単位：円）

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合 計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産受取利息		10,000	10,000
基本財産受取配当金	620,000		620,000
② 特定資産運用益			
特定資産受取利息		500	500
③ 事業収益			
講習会事業収益	600,000		600,000
医学・医療e-ラーニング事業収益	12,900,000		12,900,000
④ 受取寄付金			
受取寄付金	37,100,000	4,900,000	42,000,000
⑤ 雑収益			
受取利息等		500	500
経常収益計	51,220,000	4,911,000	56,131,000
(2) 経常費用			
① 事業費			
給料手当	2,807,000		2,807,000
会議費	320,000		320,000
旅費交通費	1,000,000		1,000,000
通信運搬費	600,000		600,000
消耗什器備品費	100,000		100,000
印刷製本費	2,000,000		2,000,000
助成金等	39,800,000		39,800,000
研究実践校	1,000,000		1,000,000
教育現場	500,000		500,000
野外教育	1,700,000		1,700,000
調査・開発	3,600,000		3,600,000
医学・医療e-ラーニング	33,000,000		33,000,000
ゴルフアカデミー	0		0
賃借料	2,320,000		2,320,000
雑費	100,000		100,000
支払寄附金	3,000,000		3,000,000
② 管理費			
役員報酬		0	0
給料手当		1,203,000	1,203,000
会議費		480,000	480,000
旅費交通費		250,000	250,000
通信運搬費		400,000	400,000
消耗什器備品費		120,000	120,000
光熱水料費		175,000	175,000
賃借料		1,000,000	1,000,000
租税公課		2,000	2,000
支払負担金		40,000	40,000
雑費		150,000	150,000
支払手数料		1,000,000	1,000,000
支払寄附金		0	0
退職給付費用		0	0
経常費用計	52,047,000	4,820,000	56,867,000
当期経常増減額	△ 827,000	91,000	△ 736,000

2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 827,000	91,000	△ 736,000
一般正味財産期首残高			25,961,768
一般正味財産期末残高			25,225,768
II 指定正味財産の部			
指定正味財産増加額	620,000	10,500	630,500
基本財産運用益		10,000	10,000
基本財産受取利息	620,000		620,000
基本財産受取配当金			
特定資産運用益		500	500
特定資産受取利息			
指定正味財産減少額	△ 620,000	△ 10,500	△ 630,500
一般正味財産への振替額	△ 620,000	△ 10,500	△ 630,500
投資有価証券評価益	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高			34,288,000
指定正味財産期末残高			34,288,000
III 正味財産期末残高			59,513,768

[注記] 平成28年度予算のうち、一般正味財産期首残高は、平成27年度予算に掲載の期末残高を示している。

また、指定正味財産における基本財産投資有価証券の評価損益は、3月末時点の時価評価のため、本予算編成時には未算定である。